

「ベビーファースト運動」に参加しました

「ベビーファースト運動」とは

子育て世帯が子どもを産み育てたくなる社会を実現するための運動です。企業や行政が全員で赤ちゃんを育てていく優しい社会を目指し、公益社団法人日本青年会議所(JC)が展開しています。

胎内市も運動の趣旨に賛同し、令和4年10月29日に市長が参画宣言をしました。

活動宣言

「健やかに子どもを産み育てることができる、活力と希望に満ちた魅力あるまち」



◆胎内市アクションプラン

アクション1

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりに取り組みます

(1) 母子保健等の充実

特定不妊治療費への助成、妊婦健康診査、子育て中の親の支援

(2) 3歳未満児保育の確保

保育士の確保

(3) 情報提供・相談体制の充実

利用者支援、地域の子育て支援拠点づくり

アクション2

一人一人の子どもの心豊かな成長を育む環境づくりに取り組みます

(1) 就学前教育・保育の充実

教育・保育の質の向上、保育教諭と保育士の資質の向上、食育の推進、特別な支援が必要な子どもに対する教育・保育の充実

(2) 多様な保育サービスの充実

延長保育の実務、認定こども園や保育園一時預かり事業、病児・病後児保育

(3) 放課後児童健全育成事業の推進

放課後児童クラブの充実

アクション3

子育て家庭を地域みんなで支える環境づくりに取り組みます

(1) 地域での子育て支援の充実

ファミリー・サポート・センター事業、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター事業)、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業

(2) 支援の必要な子ども・子育てへの支援の充実

児童虐待防止対策の充実、ひとり親家庭の支援の推進、障がい児施策の充実